

(単位:千トン)

年度 項目	2024年度		2025年度		2026年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	65	▲ 8.3%	59	▲ 8.6%	60	1.7%
ビル用 (2)	60	▲ 16.5%	58	▲ 3.9%	59	1.7%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	125	▲ 12.4%	117	▲ 6.3%	119	1.7%
ドア (4)	18	▲ 3.1%	17	▲ 8.0%	17	3.0%
エクステリア (5)	96	1.4%	93	▲ 3.4%	95	2.2%
アルミ製室内建具 (6)	33	▲ 5.2%	31	▲ 5.3%	32	3.2%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	272	▲ 6.4%	258	▲ 5.3%	263	2.1%

コメント

建築着工 2025年実績および年度見込み

1. 木造用サッシ関係指標

1). 2025年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で741千戸(前年比6.5%減)となり3年連続の減少となりました。

新設住宅着工(戸数)	741千戸	前年比	-6.5%
新設住宅着工(床面積)	56,885千㎡	前年比	-6.6%
木造住宅(戸数)	434千戸	前年比	-4.0%
非木造住宅(戸数)	307千戸	前年比	-9.8%
木造住宅(床面積)	37,789千㎡	前年比	-5.5%
非木造住宅(床面積)	19,096千㎡	前年比	-8.6%
持家(戸数)	202千戸	前年比	-7.7%
貸家(戸数)	325千戸	前年比	-5.0%
分譲(戸数)	208千戸	前年比	-7.6%

2). 2025年度の見込み(4月～3月)

新設住宅着工戸数は、年度で718千戸(前年度比12.0%減)と見込みました。

2. ビル用サッシ関係指標

1). 2025年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で95,853千㎡(前年比6.7%減)となりました。

全着工	95,853千㎡	前年比	-6.7%
非木造	54,291千㎡	前年比	-5.2%
内非居住用	41,562千㎡	前年比	-7.8%

2). 2025年度の見込み(4月～3月)

非木造用床面積は、年度で55,300千㎡(前年度比6.6%減)と見込みました。

アルミ建材需要 2026年度予測

1. 木造用サッシ

2025年度の新設住宅着工は、省エネ基準義務化に伴う3月の駆け込みの反動により対前年比88%まで落ち込むと予測しました。

2026年度住宅着工戸数は、資材価格の高騰による住宅建設コストの高止まりや、2025年度の反動からの復調により前年4.5%増となる751千戸と見込みました。

住宅省エネ2026キャンペーン等により窓改修市場は好調に推移、新築市場も住宅着工数の増加を見込んでいますが、サッシの材質はアルミ製からアルミ樹脂複合製と樹脂製への移行が進み、さらに、平屋建住宅の増加、また床面積1㎡当たりの窓数の減少傾向にあることから、住宅着工数の増加により一戸当たりのアルミ建材重量は2026年度の木造用サッシの需要を60千トン(前年度1.7%増)と予測しました。

2. ビル用サッシ

2026年度の非木造分野は、建設資材の高騰や労働力不足による影響が継続するものの、企業による設備投資が活発化し、非木造床面積を57,200千㎡(前年度比3.4%増)と見込み、ビル用サッシ需要は59千トン(前年度比1.7%増)としました。

以上のことから、アルミ建材需要全体では、263千トン(前年度比2.1%増)と予測しました。